

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：グループホーム 永の郷

作成日：平成22年9月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	ひとりひとりの意識作りをそのひとに応じた対応をしていく。	職員全員が、同じベクトルで、その人に応じた対応のケアをする。	ご利用者とのより一層のコミュニケーションをはかることで、その方の望まれていることを、少しでも理解して最低年にひとつでも達成したい。	今年度中
2	35	事業所内の研修では、ビデオやDVD等で学習しているが、実施機会が少なく身につくまでは、っていない。また、他県の高齢者住宅火災などのニュースなどは職員皆深刻にうけとめている。	今年度中に、地域の方々、消防団の協力で災害訓練を実施したいと思っている。地域運営推進会議の議題にも上っているのので、実現可能と申し込んでいる。	職員が常日頃から意識を持つこと。また、ハード面からの不具合を職員がすぐに共通認識をもち、対処できるようにする。	今年中に一回実施する。
3	45	入浴介助が全介助の方々7名おいでになり本来は、本人の希望通りにしたいのですが、なかなか実現しにくいのも事実です。また、ここに来られる前が在宅の方々がほとんどいらっしやらない。	もっとゆったりした時間の過ごし方を皆で考えるように努力します。	夜の入浴はあまり考えていないが、ゆず湯、しょうぶ湯以外にも皆様が楽しみ、くつろげるような工夫をして、ゆったりとした入浴時間を提供したい。	すぐにでも
4	51	ご家族が地域のかたがたで、頻回に面会に来らるので、なかなかこのようなことを考えていなかった。	遠方の友達や血縁の方々を書く機会を作っていきたいと皆で考え、レクの一環にしたいとおもいます。	ご家族にも協力依頼をして、はがきや手紙を書く機会をつくっていききたい。	すぐにでも
5	53	開設当初からのつくりで、その当時の考え方がとそぐわなくなってきた事実です。日頃から、日常的にテーブルなどの配置をかえたりしていますが、結局物理的な問題もでてきます。	代表者の理解のもと、もっと共用空間の有効な使い方、ご利用者が過ごし易い環境作りに努めていきたい。	日頃から、それぞれのご利用者に望まれる席や空間づくりはしているつもりだが不十分と思われる。改装や模様替えができる場所は折り合いのつくところからすぐに実施したい。	すぐにでも

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

